

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境施設課担当課長 谷川 克也		
環境-14	実施事業	ごみ処理広域化計画推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	名越・今泉クリーンセンター等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>・葉山町が加わって、2市1町ごみ処理広域化検討協議会を設置し、2市1町ごみ処理広域化の覚書を締結した。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	100	1		当初予算(千円)	50		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	100	1	50	一般財源	50		
事業運営	人員配置数	0.2	0.3		人員配置数	0.3		
	人件費(千円)	1,522	2,240		人件費(千円)	2,324		
	総事業費(千円)	1,622	2,241		総事業費(千円)	2,374		
	市民1人当りの経費(円)	9	13		市民1人当りの経費(円)	13		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現状では、予算規模は現状維持としているが、2市1町での、ごみ処理広域化計画の進展によっては予算規模が拡大することも想定される。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	2市1町でのごみの広域化計画の可能性を検討していくことになるため、今後は、事業内容をはじめ、予算への影響も考えられる。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	平成27年度に逗子市から、葉山町を加えた新たな広域の取組の提案があったため、平成28年度からは、葉山町の動向を踏まえたうえで、2市1町でのごみ処理広域化について検討していくことになる。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	ごみ処理広域化実施計画の策定に向けて2市1町の協議会を開き協議を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	2市1町でのごみ処理広域化実施計画の策定に向けて協議を進めることになる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市・逗子市・葉山町のごみ処理広域化についての検討を行なう。						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
本市と逗子市及び葉山町との広域処理を行うため、広域処理についての検討の進行状況の評価するため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0						
	実績値	80.0	80.0	80.0							
	達成率	80.0%	80.0%	80.0%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											